

M.2 NVMe SSD  
クローン4モードイレースタンド

AOK-NVMERCL-20G



## はじめにお読みください。

### ■安全上のご注意・はじめに必ずお読みください

ご使用ならびに他者への危害、財産の損害などにつながる恐れがありますので、必ずお守りいただきたい順に、危険、警告、注意の順番に記載しています。

### ▲危険（死亡や重篤な障害を負う恐れが大きいです。）

- ・煙が出たり、異臭や異音が出たら、コンセントからプラグを抜いてください。  
また、その他の製品の異常がありましたら、ご使用をやめ、速やかにサポートまでご連絡ください。
- ・電源コード、接続コードの上に物をのせたり、傷つけたり、折り曲げ、押し付け、加工などは火災・感電の原因になりますので行わないでください。
- ・本製品および付属品の分解や改造を行わないでください。発熱・発火・感電・破損の原因になります。
- ・火や騒音器具、発熱する機器の近くで使用しないでください。発熱・発火・感電・破損の原因になります。
- ・水などの液体に濡らさないでください。発熱・発火・感電・やけどの原因になります。
- ・人体に触れたまま使用しないでください。発熱によるやけどや予期せぬ感電ややけどの原因になります。
- ・ご使用後は必ず電源を切り、電源ケーブルを取り外して保管してください。予期せぬ停電やケーブルの抜け落ち等で機器の破損の原因になります。

### ▲警告（死亡や重篤な障害を負う恐れがあります。）

- ・端子部分の埃や汚れを掃除してください。発熱・発火・感電・破損の原因になります。
- ・各ケーブルの接続部はしっかりと挿しこんでください。発熱・発火・感電・破損の原因になります。
- ・付属品以外のケーブルや電源アダプタを使用しないでください。発熱・発火・感電・破損・データの損失などの原因になります。
- ・お子様の近くで使用しないでください。発熱によるやけどや予期せぬ感電の原因になります。
- ・乳幼児の口に入る小さな部品があります。乳幼児の手の届かない所に保管してください。
- ・ご使用後は必ず電源を切り、電源ケーブルを取り外して保管してください。予期せぬ停電やケーブルの抜け落ち等で機器の破損の原因になります。

### ▲注意（軽傷を負ったり、機器の損害の恐れがあります。）

- ・本製品と接続した機器は水平で安定した所に設置してください。予期せぬ滑落やケーブルの脱落などの原因になります。
- ・40度以上の高温や極端に温度の高い場所で使用しないでください。本製品の故障や接続した機器のデータ破損などにつながる恐れがあります。
- ・パソコン接続中は本製品や接続機器に触れないでください。低温やけど・データ破損・機器の破損につながる恐れがあります。
- ・ご使用後すぐは本製品や接続した機器に触れないでください。低温やけどや・データ破損・機器の破損につながる恐れがあります。
- ・ケーブルや機器の着脱は必ず本製品の電源を切ってから行ってください。本製品や機器の故障・データの破損などにつながる恐れがあります。
- ・本製品に強い振動や衝撃、無理な力を与えたり、ピンなどの異物を差し込んだりしないでください。
- ・本製品は精密機器ですので、体の静電気を取り除いてからご使用ください。静電気を与えると誤動作や故障、データ損失の原因になります。
- ・本製品を、直射日光に当たる場所、高温、多湿となる場所、ホコリや湿煙などの多い場所、強い磁場、電波、静電気の発生する場所での使用、保管をしないでください。
- ・お手入れの際は、ベンジンやシンナーなどの揮発性有機溶剤が含まれているものや、液体は使用しないでください。
- ・本製品の電源をONにした状態で、SSDの着脱を行うことはできません。SSDを着脱する場合は、必ず本製品の電源をOFFにしてから行ってください。

## その他の注意事項

- Windowsは米国Microsoft社の登録商標です。macOS、MacOSXは米国Apple inc社の登録商標です。
- 本製品は、上記各社のライセンス商品ではありません。その他記載されている名称（機能名、規格名、商品名など）は、各社の商標または登録商標です。
- 本製品はNVMe M.2 SSDに対応しておりますが、すべてのNVMe M.2 SSDの動作を保証するものではありません。
- mac専用PCIe SSDはコネクタ形状がM.2では無い為、本製品では使用することができません。
- 本製品に対して、接続機器から連続でアクセスすると、本体およびSSDが高温になることがあります。これは故障ではございません。本体が高温になった場合は、少し時間を置いてから取り外してください。
- 本製品にはSSDは含まれておりません。
- 本製品はUSB2.0での動作を保証いたしません。必ずUSB3.2 Gen1（USB3.0/USB3.1 Gen1）以上のポートに接続してください。
- 本製品の性能を十分に引き出すには、USB3.2 Gen2×2以上のポートに接続してください。
- パソコンのUSB4ポートに接続した場合、USB4の下位互換機能でUSB3.2 Gen2（最大10Gbps）として動作します。
- 本製品はNVMe M.2 SSD 2枚が接続できます。
- 本製品では、「SATA M.2 SSD」は使用できません。
- 本製品ご使用時はUSBハブを使用せず、直接パソコン等のUSBポートに接続してください。USBハブを使用した場合、パソコン等との認識が不安定になる場合がございます。
- 本製品の保証はマニュアルをお読みいただいた後、日本国内でのご使用のみ対応です。
- 本製品ご使用前に、重要なデータのバックアップをお取りいただくことをお勧め致します。
- 本製品ご使用中に、万が一接続した機器を破損させた場合、機器に記録されていたデータの復旧や再生、データ損失に起因するあらゆる損害は保証対象外です。（データ保障の免責）
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接および間接の被害については、弊社は一切の責を負わないものとします。
- 本製品は本書記載の動作環境に準じた、全ての接続機器の動作を完全に保証する物では有りません。
- 付属の説明書を必ずお読み頂いてからご使用下さい。特殊なご使用方法などのご質問にはお答えできません。
- その他記載されている名称（機能名、規格名、商品名、会社名）は各社の商標または登録商標です。
- 製品改良の為、外観、仕様、記載内容の変更を予告なく行う場合があります。
- 弊社製品は一般コンシューマ向けに開発、製造しております。一般コンシューマ以外のビジネス、工場、インダストリアル等でのご使用は、製品保証対象外になります。
- 弊社の保証規約は本体と付属品までを範囲と致します。
- 長時間使用されない場合、電源を取り外した状態で保管してください。
- ダウンタイムの保証につきましても、お受けすることはできません。
- パッケージの記載内容および製品、マニュアルは、改良その他により予告なく変更する場合がございますので予めご了承ください。

## 目次

はじめにお読みください。	2～3ページ
目次	4ページ
製品構成	5ページ
対応 OS	5ページ
対応 SSDおよび対応 M.2 端子	5ページ
本体各部名称、各機能	6ページ
SSDの装着方法	7ページ
クローン SSD作成方法	8ページ
イレースモードの使用方法	9～10ページ
パソコンと接続	11ページ
接続の確認	11ページ
パソコンからの取り外し	11ページ
SSDの初期化方法 (Windows)	12～16ページ
SSDの初期化方法 (macOS)	17～20ページ
ボリュームの拡張について	21～24ページ
UASPモードについて	25ページ
ディスク署名の競合について	25ページ
製品仕様	25ページ
よくあるご質問 Q&A	26ページ
製品保証書	27ページ

## 製品構成

1. 本体 1台
2. ACアダプタ 1個
3. USBケーブル 1本

## 対応 OS

- Windows 11
- macOS (10.9 以降)

## 対応 SSD および対応 M.2 端子

対応 SSD : NVMe M.2 SSD

対応 M.2 端子 : M key/B&M Key

※M.2 SSD の端子形状が B&M Key の場合は、端子の切り掛けが 2 箇所あります。

B Key と M Key では、端子の端が B Key の方が太く、M Key の方が細くなっております。

本製品の端子の切り掛けは M Key 用になっておりますので、接続する際は端子の端が細い方が切り掛けの位置に来るように接続してください。

※本製品の端子の切り掛けは M Key 用となっており、B Key 側を無理やり接続すると M.2 SSD や本体が破損する可能性がありますのでご注意ください。

## 本体各部名称、各機能

### ① NVMe M.2 SSDスロット (Source)

NVMe M.2 SSDを接続します。クローン時にはクローン元のSSDを接続してください。

### ② NVMe M.2 SSDスロット (Target)

NVMe M.2 SSDを接続します。クローン時にはクローン先のSSDを接続してください。

### ③ NVMe M.2 SSDアクセスLED ランプ (Source)

動作に応じて、白点灯、白点滅し状況をお知らせします。

エラーが発生した場合赤点滅でお知らせします。

### ④ NVMe M.2 SSDアクセスLED ランプ (Target)

動作に応じて、白点灯、白点滅し状況をお知らせします。

エラーが発生した場合赤点滅でお知らせします。

### ⑤ モード切替スイッチ

イレースモードとクローンモードの切替ができます。

### ⑥ モードLED

現在のモードをLEDで表示します。

### ⑦ インジケータ

クローンおよびイレース時に進行度に合わせて点滅 (作業中)、点灯 (終了) します。

イレースモード選択時に現在選択中のモードをLEDでお知らせします。

### ⑧ スタートボタン

クローンおよびイレース時に使用します。

### ⑨ 電源スイッチ

電源のON/OFFができます。

### ⑩ 電源コネクタ

付属のACアダプタの電源プラグを差し込みます。※付属のACアダプタ以外は使用しないでください。

### ⑪ USB Type-C ポート

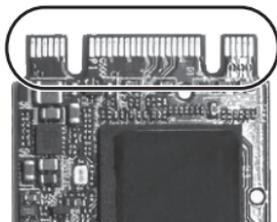
付属のUSBケーブルを使用して本製品とパソコンを接続します。



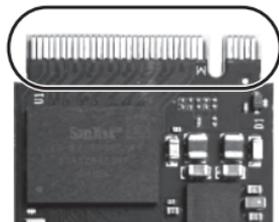
## SSDの接続方法

※ご使用になろうとしている M.2 SSD が NVMe タイプであり、M Key または B&M Key であることを、必ずご確認ください。

※本製品は NVMe M.2 SSD 専用となり、SATA M.2 SSD は使用できません。



B&M Key



M Key

M.2 SSD の端子の切り掛けと本体の端子の切り掛け位置を確認し、本体に M.2 SSD を真上から真っすぐに接続して、M.2 SSD と本製品がしっかり接続されている事を確認してください。

※M.2 SSD の端子形状が B&M Key の場合は、端子の切り掛けが 2 箇所あります。

B Key と M Key では、端子の端が B Key の方が太く、M Key の方が細くなってあります。

本製品の端子の切り掛けは M Key 用になっておりますので、接続する際は端子の端が細い方が切り掛け側に来るように接続してください。

※本製品の端子の切り掛けは M Key 用になっており、B Key 側を無理やり接続すると M.2 SSD や本体が破損する可能性がありますのでご注意ください。



端子の切り掛け位置



SSD 接続状態

※写真では SSD を 2 枚同時に接続していますが、パソコン接続時は SSD 1 枚でも使用できます。

## クローン SSD 作成方法

クローンは Windows 上のコピーとは異なり、OS 等のシステム領域や、パーティション、未割り当て領域も含め、全ての領域をクローン（複製）できます。

- ※クローン先とクローン元の SSD を間違えると、大切なデータが上書きされてしまいますのでご注意ください。
- ※クローン元の SSD の容量に対して、クローン先の SSD の容量は同等または、それより大きい必要があります。
- ※同容量の SSD を使用してクローンする場合は、同メーカー同型番の SSD の使用を推奨します。  
(各メーカーにより、容量の端数値が違う場合があるため。)
- ※クローン元にクローン先より容量の大きな SSD を取り付けただけの場合、「クローンモード」が開始されません。
- ※リカバリー領域等の特殊領域は、クローンできても正常に動作しない可能性があります。
- ※SSD にエラーがある場合はクローンできません。

### ①SSD の接続

クローン元の SSD を「NVMe M.2 SSD スロット (Source)」に、クローン先の SSD を「NVMe M.2 SSD スロット (Target)」に接続してください。

### ②電源の接続、モード切替、電源ボタンの ON

付属の電源アダプタを接続し、モード切替スイッチを「Clone」に切替、本体の電源ボタンを押し、本体の電源を ON にしてください。

本体の電源が ON になると電源 LED が点灯し、SSD 認識すると、アクセス LED ランプが点灯、「Clone」と表示されたモード LED が点灯します。

※USB ケーブルは接続しないでください。

### ③クローンのスタート

スタートボタンを長押し（5 秒以上）すると、全てのインジケータが点滅しますので、インジケータ点滅中に、もう一度スタートボタンを押してください。

正常にクローンがスタートすると、25%のインジケータが点滅します。

クローンが完了した領域に合わせて、25%、50%、75%、100%のインジケータが順番に点灯していきます。

### ④クローンの完了

インジケータの 25%、50%、75%、100%の LED が点灯したら、クローンが完了します。本体の電源ボタンを OFF にしてください。

※クローン中に認識エラー等が発生した場合、エラーがあった側の「NVMe M.2 SSD アクセス LED ランプ」が赤点滅します。

※クローン先の SSD とクローン元の SSD を同じパソコンに接続すると、「ディスク署名の競合」が発生します。2 枚同時に認識させるにはディスクの管理から「オフライン」状態の SSD を「オンライン」状態にする必要があります。

## イレースモードの使用方法

イレースモードでは下記の動作モードがご利用いただけます。

- **クイックイレース (QE)**  
データを高速で消去します。  
目次情報のみを削除するため、実際のデータは残ったままになります。
- **フルイレース (FE)**  
全てのセクターに対して「00」で上書きし、データの完全抹消を行います。
- **ランダムイレース (RE)**  
全てのセクターに対して「ランダム値」で上書きし、データの完全抹消を行います。  
「フルイレース」と交互に行い組み合わせることでさらに信頼性が向上します。
- **3回イレース (3E)**  
全てのセクターに対して「ランダム値」で3回上書きし、データの完全抹消を行います。  
本製品で最もセキュリティレベルの高いイレースモードです。

### ●イレースモードの操作方法

本製品は接続した SSD 2 枚を同時にイレースできます。

※イレースを行う SSD を間違えると、大切なデータが抹消されてしまいますのでご注意ください。

※イレース動作中に電源を OFF にしないでください。

※SSD の状態によってはイレースできない場合があります。

※イレースモードではエラースキップは行えません。

#### ①SSD の接続

イレースを行う SSD を「NVMe M.2 SSD スロット」に接続してください。

※Source および Target のどちらに接続してもイレースは行えます。

#### ②電源の接続、モード切替、電源ボタンの ON

付属の電源アダプタを接続し、モード切替スイッチを「Erase」に切替、本体の電源ボタンを押し、本体の電源を ON にしてください。

本体の電源が ON になると電源 LED が点灯し、SSD 認識すると、アクセス LED ランプが点灯、「Erase」と表示されたモード LED が点灯します。

※USB ケーブルは接続しないでください。

### ③イレースモードの選択およびスタート

スタートボタンを長押し（5 秒以上）すると、「25% QE」と表示された LED が点滅し、イレースモードの選択モードに移行します。

スタートボタンを短く 1 回押すごとに、モードが切り替わります。「QE」「FE」「RE」「3E」からイレースモードを選択し、スタートボタンを長押し（5 秒以上）してから指を離すと、25% の LED が点滅し、イレースがスタートします。

イレースが完了した領域に合わせて、25%、50%、75%、100%のインジケーターが順番に点灯していきます。

### ④イレースの完了

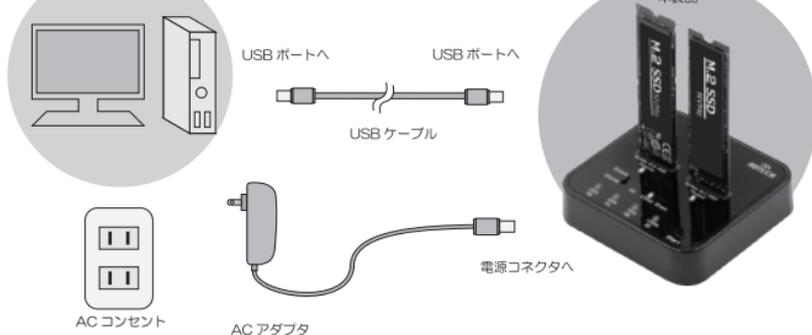
インジケーターの 25%、50%、75%、100%の LED が全て点灯したら、イレースが完了します。本体の電源ボタンを OFF にしてください。

※クイックイレース（QE）モードは数秒でイレースが完了する為、イレース開始とほぼ同時に 25%、50%、75%、100%のインジケーターが点灯してイレースが終了します。

## パソコンと接続

SSD を接続した本製品をパソコンに接続します。

USB インターフェースを搭載したパソコン



### 接続手順

- ①本製品に SSD を接続します。
- ②付属の電源アダプタをコンセントに接続し、本製品に接続します。
- ③付属の USB ケーブルを本製品とパソコンに接続します。
- ④本製品の電源を ON にします。

※新しい SSD を本製品に接続した場合、フォーマットが必要です。

本書のフォーマット方法をご参照ください。

※使用中および使用後は、SSD が発熱している場合があります。SSD を取り外す場合は、電源を切ってしばらく経ってから、SSD をスタンドから取り外してください。

### 接続の確認

- Windows  
「デバイスとドライブ」でドライブ表示が追加された事を確認してください。
- macOS  
デスクトップ上にストレージのアイコンが追加された事を確認してください。

### パソコンからの取り外し

- Windows  
タスクバー上の USB アイコンをクリックし、「ハードウェアの安全な取外し」を選択し、本製品を取り外してください。
- macOS  
デスクトップ上の本製品のアイコンを「ゴミ箱」の方にドラッグすると「ゴミ箱」が「イジェクト」アイコンに変化致しますので、そのままドロップしてください。

※本製品の電源を ON にした状態で、SSD の着脱を行うことはできません。  
SSD を着脱する場合は、必ず本製品の電源を OFF にしてから行ってください。

## SSDの初期化方法（Windows）

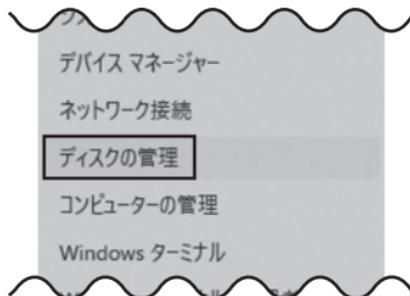
※この説明では SSD にパーティションを分割しない設定で領域を確保する操作方法を説明しております。

パーティションを分割する場合は Windows の説明書や参考書籍などをご使用ください。

### ●フォーマット方法

※フォーマットを行うと SSD 内のデータは全て削除されます。

①デスクトップにある「Windows」マーク上で「右クリック」し「ディスクの管理」を選択してください。

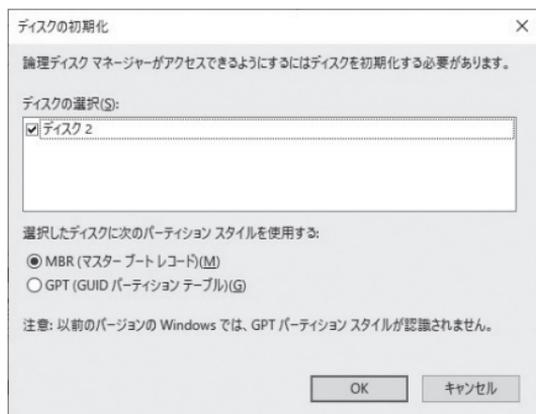


②初期化が行われていない SSD をパソコンに接続していた場合、「ディスクの管理」を選択した際に、「ディスクの初期化」が表示されます。

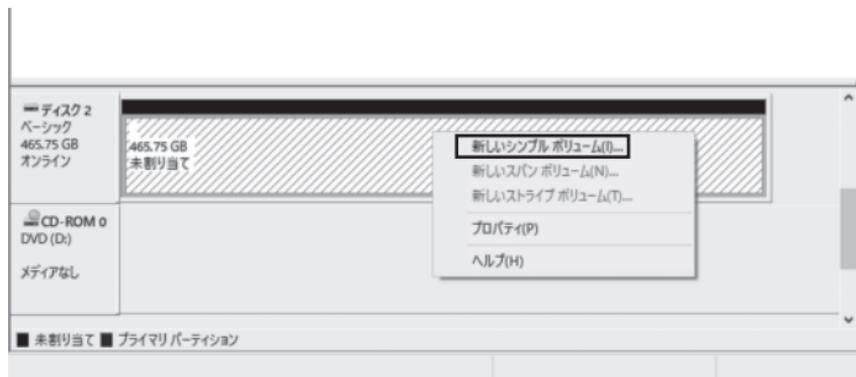
2TB 未満の SSD を接続している場合は「MBR（マスターブートレコード）」を選択してください。

2TB 以上の SSD を接続している場合は「GPT（GUID パーティションテーブル）」を選択してください。

設定後に「OK」を選択してください。



- ③「ディスク」から「未割り当て」と表示された領域で「右クリック」し、メニューから「新しいシンプルボリューム」を選択してください。



- ④「新しいシンプルボリュームウィザード」が表示されますので、「次へ」を選択してください。



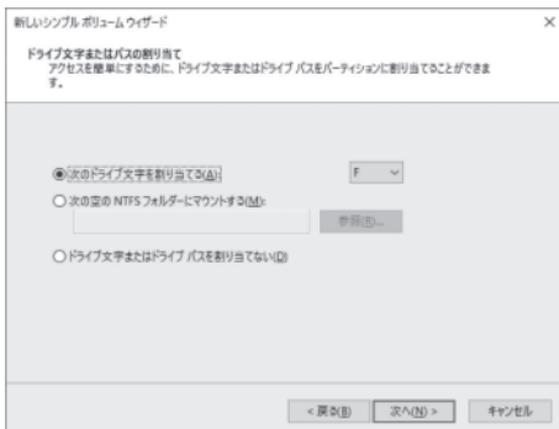
⑤「ボリュームサイズの指定」が表示されます。全ての領域をフォーマットする場合は「次へ」を選択してください。

パーティションを分割する場合は「最小ディスク領域」から「最大ディスク領域」までの任意のサイズを「シンプルボリュームサイズ」に指定してから「次へ」を選択してください。



⑥「ドライブ文字またはパスの割り当て」が表示されます。指定が無ければ空いている割り当て番号の一番若い番号が表示されておりますので、そのまま「次へ」を選択してください。

※「次の空の NTFS フォルダにマウントする」と「ドライブ文字またはドライブパスを割り当てない」は通常使用しませんので選択しないでください。こちらの機能を使用する場合は別途 Windows のヘルプや参考書をご参照ください。



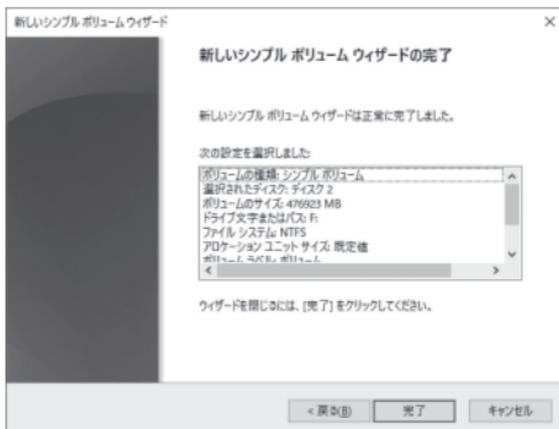
⑦「パーティションのフォーマット」が表示されます。特別な設定を行う以外はそのまま「次へ」を選択してください。

※「パーティションのフォーマット」にて設定を変更する場合は下記をご参照ください。

ファイルシステム	NTFS、FAT32、exFATが選択できます。 FAT32では32GB以上の領域をフォーマットできませんので、32GB以上の領域をフォーマットする場合はNTFSでフォーマットを行ってください。 exFATでフォーマットする場合はWindows Vista以前のWindows OSでは正常に認識できなくなる可能性があります。
アロケーション ユニットサイズ	パーティションのアロケーションユニットサイズを指定します。使用するアプリケーション等の指定がない限り、規定値で設定してください。
ボリュームラベル	マイコンピュータ-等から表示されるボリュームラベルを設定します。
クイックフォーマット	チェックボックスを有効にすると、フォーマットする際にクイックフォーマットでフォーマットを行います。 通常のフォーマットと違い、ディスクの全領域を確認しませんので、時間がかからない代わりに、不良セクタ等の代替も行われません。 クイックフォーマットを行わない場合、ディスクの容量によっては数時間～数十時間かかる場合があります。お使いのディスクの状態に合わせて選択してください。
ファイルとフォルダの 圧縮を有効にする	このチェックボックスを有効にすると、ファイルとフォルダの圧縮が有効になります。 通常よりも大きな容量を使用できるようになりますが、パフォーマンスの面では圧縮されていない状態よりも劣ります。 一部のアプリケーションでは、この設定が推奨されていないこともありますのでご注意ください。

⑨「新しいシンプルボリュームウィザードの完了」が表示されます。

テキストボックス内の設定を確認後に「完了」を選択すると、フォーマットが開始されます。



⑩フォーマットが開始すると、「ディスクの管理」で表示されるステータスが「フォーマット中」になります。

進行状況が 100%になり、ステータスが「正常」になればフォーマットが完了します。

※フォーマット中はコンピュータの電源を切ったり、ケーブルを取り外したり、Windows を終了しないでください。



⑩フォーマットが完了すると「ディスクの管理」に容量が表示されます。

「デバイスとドライブ」にドライブが追加されている事を確認してください。

## SSDの初期化方法 (macOS)

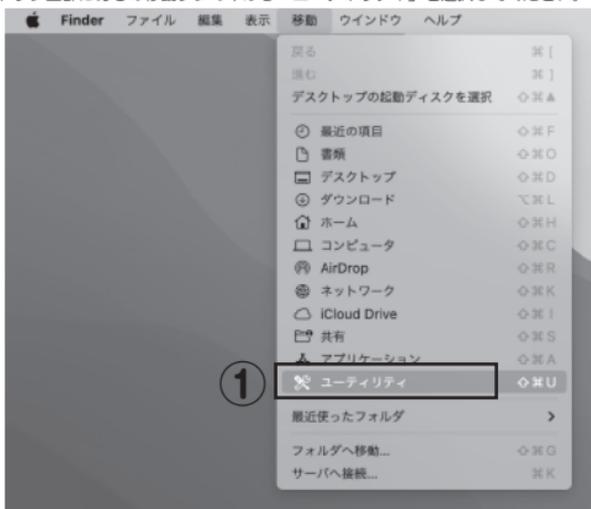
※この説明では SSD にパーティションを分割しない設定で領域を確保する操作方法を説明しております。

パーティションを分割する場合は macOS の説明書や参考書籍などをご使用ください。

※フォーマットを行うと SSD 内のデータは全て削除されます。

※macOS のバージョンアップに伴い、M シリーズチップ搭載のデバイスでは正常に動作しない場合があります。  
macOS でご利用の際は事前にお問合せしてください。

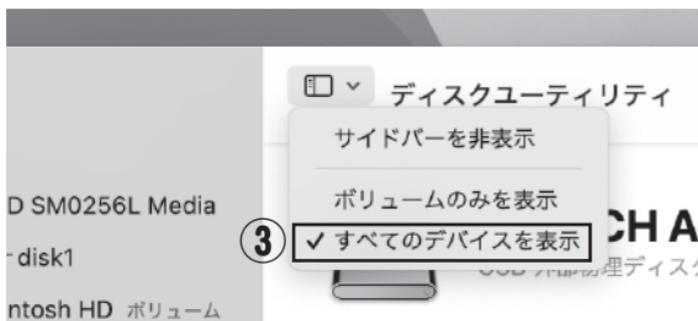
①Finder デスクトップ上部にあるの移動タブの中から「ユーティリティ」を選択してください。



②開いたフォルダ内の「ディスクユーティリティ」をダブルクリックして起動します。



- ③ウィンドウ左上の [表示] アイコンをクリックします。  
[すべてのデバイスを表示] を選択します。\*



- ④フォーマットを行う SSD を選択してください。



- ⑤画面上部の [消去] ボタンをクリックします。



⑥フォーマットを選択してください。



●APFS

macOS のみで SSD を使用する場合は選択してください。

macOS 10.13 以降でのみ使用できるフォーマットです。それ以前の macOS では使用できません。

●macOS 拡張 (ジャーナリング)

macOS のみで SSD を使用する場合は選択してください。

●MS-DOS (FAT)

macOS と Windows で SSD を使用する場合は選択してください。

1 ファイルで 4GB を超えるファイルは使用できません。

●exFAT

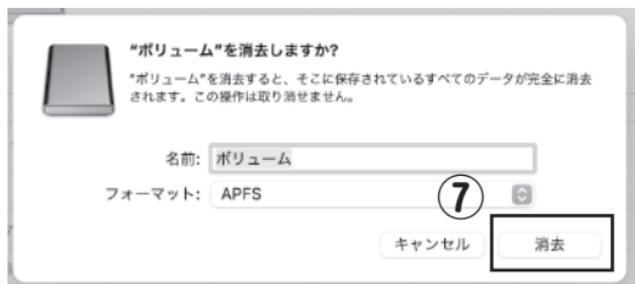
macOS と Windows で SSD を使用する場合は選択してください。

Windows Vista 以前の OS では認識できません。

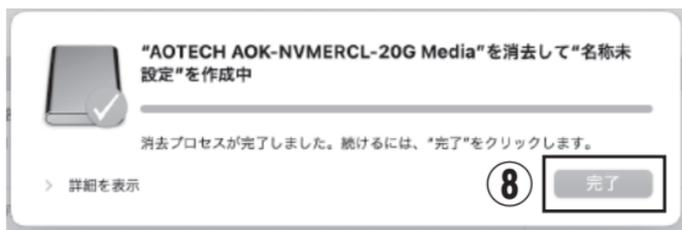
※Windows OS と macOS 両方で使用する場合で、「方式」からパーティションマップを変更する場合は、「GUID パーティションマップ」か「マスター・ブート・レコード」を選択してください。

「Apple パーティションマップ」を選択すると、macOS 以外では認識できなくなります。

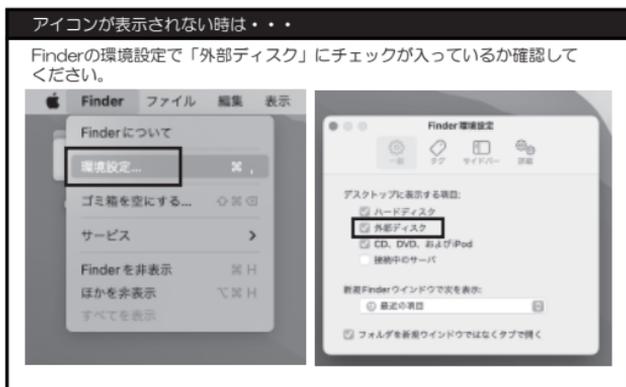
⑦「消去」を選択するとフォーマットが開始されます。



⑧「消去プロセスが完了しました」と表示されたら、[完了] をクリックします。



デスクトップ画面に新しいアイコンが表示されれば作業完了です。



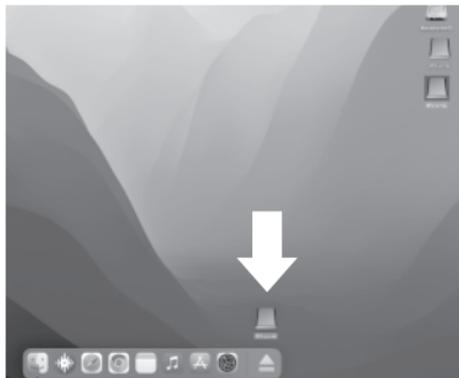
#### 本製品の安全な取り外し方法

Macから本製品を取り外す際は、データの破損を防ぐため、必ず以下の手順で「取り出し」操作を行ってください。

デスクトップにある本製品のアイコン（HDDアイコン）を、画面右下の[ゴミ箱]へドラッグ&ドロップします。

ゴミ箱のアイコンが[取り出し]アイコンになるので、その上で指を離します。

デスクトップからアイコンが消えたことを確認し、USBケーブルを抜きます。



## ボリュームの拡張について

### ●ボリュームの拡張について

元のSSDより、容量の大きいSSDにクローンを行った場合、以前にパーティションを切って使用していた領域以外は、未割り当て領域となります。

未割り当て領域を使用して、既存のドライブ（Cドライブ等）の領域を拡張する事ができます。

※手順を間違えると大切なデータが消えてしまう可能性がありますので、十分に注意して操作を行ってください。

データの消失に関して弊社では一切保証することができませんのでご了承ください。

手順に不明な点がある場合は、Windowsの参考書等をご参照ください。

### ●ボリュームの拡張方法

本項目では、Cドライブを拡張する方法を説明します。

#### ①ディスクの管理の表示

Windows 11 場合：「スタートボタン」上で右クリックし、「ディスクの管理」を左クリックで起動してください。

#### ②「ディスクの管理」に表示されている拡張したいパーティション上で右クリックしてください。

The screenshot shows the Windows Disk Management console. At the top, there is a table listing all disks and their partitions. Below this, the details for Disk 0 (C:) are expanded, showing a 'Extend Volume' option for the C: partition.

ボリューム	レイアウト	種類	ファイルシステム	状態	容量	空き領域	空き領域の割...
(C:)	シンプル	ベーシック	NTFS	正常 (ブート...	62.08 GB	31.83 GB	51 %
ディスク 0 パーティシ...	シンプル	ベーシック		正常 (EFI ...	100 MB	100 MB	100 %
ディスク 0 パーティシ...	シンプル	ベーシック		正常 (回復...	785 MB	785 MB	100 %
ボリューム (D:)	シンプル	ベーシック	NTFS	正常 (パー...	931.51 GB	309.06 GB	33 %

ディスク 0	パーティション	容量	ファイルシステム	状態	空き領域
ディスク 0 111.77 GB オンライン	100 MB 正常 (EFI シ...	62.08 GB NTFS	正常 (ブート、パーシ...	48.83 GB 未割り当て	785 MB 正常 (回復パーテ...

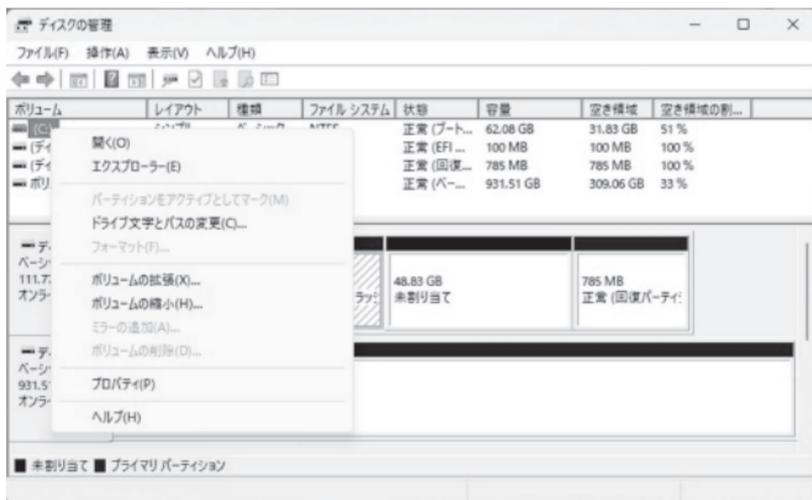
■ 未割り当て ■ プライマリパーティション

③「ボリュームの拡張」を左クリックで選択してください。

※「ボリュームの拡張」を行うパーティションが「未割り当て領域」と隣り合わない場合は「ボリュームの拡張」は行えません。

例：「System」「C」「D」「未割り当て」とパーティションが並んでいる場合、「C」を拡張する事はできません。その場合は「D」に入っているデータを他の場所に移動し（外付けHDD等）、「D」パーティションを削除し、「System」「C」「未割り当て」という順番にパーティションが並んだ状態にしてください。

（「D」パーティションにソフトのインストールデータ等が入っていて移動できない場合は、この画面からパーティションを拡張できません。別途パーティション管理ソフトを使用するか、別途 Windows 参考書をご用意いただき、コマンドプロンプトを使用して変更を行ってください。）



④「ボリュームの拡張ウィザード」が表示されますので、「次へ」のボタンを押してください。



⑤「ディスク領域 (MB) を選択」欄に任意のサイズを入力し、「次へ」を押してください。

※「D」パーティションを削除し、後にもう一度「D」パーティションの作成を行いたい場合は、「D」パーティション分の容量を残してください。



⑥「ボリュームの拡張ウィザードの完了」画面が表示されますので、「完了」ボタンを選択してください。



⑦「コンピューター」の管理画面でパーティションが拡張されている事を確認してください。

※「D」パーティションを削除して「C」パーティションを拡張し、もう一度「D」パーティションを作成したい場合は、この操作の後に作成してください。

The screenshot shows the Windows Disk Management console. At the top, there is a table listing all disks and their partitions. Below this, there are detailed views for 'ディスク 0' and 'ディスク 1'.

ボリューム	レイアウト	種類	ファイルシステム	状態	容量	空き領域	空き領域の割合
(C:)	シングル	ベ-シック	NTFS	正常 (ブート...	110.91 GB	90.95 GB	73 %
ディスク 0 パーティシ...	シングル	ベ-シック		正常 (EFI ...	100 MB	100 MB	100 %
ディスク 0 パーティシ...	シングル	ベ-シック		正常 (回復...	785 MB	785 MB	100 %
ボリューム (D:)	シングル	ベ-シック	NTFS	正常 (バー...	93.151 GB	309.06 GB	33 %

ディスク 0	レイアウト	種類	ファイルシステム	容量	空き領域	空き領域の割合
ディスク 0 ベ-シック 110.77 GB オンライン			(C:) 110.91 GB NTFS		785 MB	
	100 MB 正常 (EFI システム)		正常 (ブート、ページ ファイル、クワッシュ ダンプ、ベ-シック)		正常 (回復パーティション)	

ディスク 1	レイアウト	種類	ファイルシステム	容量	空き領域	空き領域の割合
ディスク 1 ベ-シック 93.151 GB オンライン			ボリューム (D:) 93.151 GB NTFS			
			正常 (ベ-シック データ パーティション)			

■ 未割り当て ■ プライマリパーティション

## UASPモードについて

- 本製品をUSB3.2 UASPモードで使用すると、通常のUSB3.2接続で使用する場合に比べて、より高速で使用することができます。

本製品をUSB3.2 UASPモードで使用する場合、以下の条件を全て満たしている必要があります。

- USBコントローラーICがUASPモードに対応している
- USBコントローラーICのドライバがUASPモードに対応している
- OSがUASPモードに対応している（Windows 11）

## ディスク署名の競合について

クローン元のSSDとクローンモードで複製したSSDをパソコンに接続した場合、同じデータが書き込まれたSSDが2台パソコンに認識されますが、ディスク署名が競合するため、1台のSSDしか使用できません。

他の用途で2台同時にSSDを使用したい場合、Windowsの場合は「ディスクの管理」から「オフライン」状態のSSDを「オンライン」に変更するか、管理者権限のコマンドプロンプトから「Microsoft diskpart」を起動し、ディスク署名を変更してください。

## 製品仕様

型番	AOK-NVMERCL-20G	
JAN	4580438147851	
インターフェイス	USB3.2 Gen2×2 Type-C(最大20Gbps) *理論値	
パソコン接続ポート	USB Type-C (USBケーブル使用)	
対応OS	Windows 11、macOS (10.9以降)	
対応環境	USB3.2 Gen2×2/USB3.2 Gen2/ USB3.2 Gen1 (USB3.1/3.0) 接続端子搭載/パソコン	
対応ドライブ	NVMe M.2 SSD (Type-22110/2280/2260/2242/2230)	
搭載可能SSD数	最大2枚のM.2 SSD	
本体モード	パソコン認識モード	PC
	クローン(複製)モード	CLONE
	イレース(抹消)モード	QUICK ERASE、FULL ERASE、RANDOM ERASE、3 TIMES ERASE
電源	ACアダプタ (5V/3A)	
サイズ	約 横79mm×縦76mm×高さ18mm (突起部除く)	
重量	約150g (本体のみ)	
付属品	USB Type-C to Type-Cケーブル、ACアダプタ	
保証期間	ご購入後12ヵ月間	

※ 全てのSSDでの動作を保証するものではありません。

※ 製品の仕様は、予告なく変更する場合があります。

## よくあるご質問 Q&A

Q. SSD が認識しません。

A.1. 本製品の電源を ON にした状態で、SSD の着脱を行うことはできません。

SSD を着脱する場合は、必ず本製品の電源を OFF にしてから行ってください。

A.2. ご使用になろうとしている M.2 SSD が NVMe タイプであり、M Key または B&M Key であることをご確認ください。

Q. mac でフォーマットした SSD を Windows で開けません。

A. フォーマット形式を FAT 形式にしてください。(MS-DOS ファイルシステム)

Q. Linux や Unix でも使用可能ですか？

A. カーネルが対応していれば使用可能ですが、サポートはしていません。

Q. 高速転送できる条件を教えてください。

A. ご使用になるパソコンの USB ポートが 20Gbps (USB3.2 Gen2×2) に対応していることを確認してください。

Q. クローンモードが開始されません。

A. 本製品のクローン機能は「小さい容量の SSD から大きい容量の SSD」のみが可能です。

Q. クローン先の SSD を装着したパソコンでクローン元の SSD が認識できません。

A. ディスク署名の競合が発生しています。ディスク署名を変更してください。

Q. 500GB の SSD から 1TB の SSD にクローンしたのに、C ドライブが 500GB しか無い。

A. クローンをしてもパーティションサイズは変更されません。

ボリュームの拡張をおこなってください。

# 保証書

製品型番： AOK-NVMERCL-20G

保証期間： お買い上げ日 年 月 日 から 12 カ月間

リガナ .....

お客様名： \_\_\_\_\_ 様

〒

住所： \_\_\_\_\_

電話番号： \_\_\_\_\_ E-mail： \_\_\_\_\_

販売店名・住所・電話番号・（販売店印もしくは販売店レシート）



## 保証規約

この度は、弊社製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございました。

保証期間内にお客様の正常なご使用状態で万が一故障した場合には、本保証書記載の保証規定に従い、

修理を実施いたしますので、お買い求めの販売店様に本保証書を添えてお申し出ください。

保証期間内につきましては無料で修理いたします。尚、やむを得ず郵送を必要とされる場合には、

販売店様までの送料をご負担頂くようお願い申し上げます。

※本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

※本保証書は日本国内においてのみ有効となります。

保証期間内でも次の様な場合は有償修理となります。

- ・本保証書をご提示されない場合
- ・本保証書の所定の事項の未記入、字句を訂正されたもの及び販売店・社印または社名の未記入、販売店レシートのない場合
- ・火災、地震、水害、落雷、その他天災地変による故障及び損傷
- ・使用者側での輸送、移動時の落下など、お取り扱いが不適切なため生じた故障及び損傷
- ・説明書に記載の使用方法及び注意事項に反するお取り扱いによって生じた故障及び損傷
- ・改造またはご使用の責任に帰すると認められる故障及び損傷
- ・他の機器との接続が原因で本製品に生じた故障及び損傷

※本製品の故障またはその使用中に生じた直接または間接の損害（データ損失を含む）につきましては弊社はその責を負いません。

株式会社アイティプロテック  
住所：千葉県柏市青葉台2丁目18-12

サポートお問合せ窓口  
製品のサポートやお問い合わせにつきましては下記メールアドレスまでお寄せください。  
support@aotech.jp